

① 相続が発生し、遺産分割前に届け出るときの記載例

農地法第3条の3第1項の規定による届出書

平成 22 年 4 月 5 日

〇〇市 農業委員会会長 殿

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
氏名 水田 広行 印
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
氏名 水田 良大 印

下記農地(採草放牧地)について、相続により所有権を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出ます。

記

- 1 権利を取得した者の氏名等

氏名	住所
水田 広行	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
水田 良大	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

- 2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	備考
	登記簿	現況		
〇〇市〇〇町大字 00321番	田	田	3,000	登記簿上の名義人は 水田太郎
〇〇市〇〇町大字 00543番	畑	畑	1,000	同上

- 3 権利を取得した日
平成 22 年 4 月 1 日
- 4 権利を取得した事由
水田太郎の死亡に伴う相続により取得
- 5 取得した権利の種類及び内容
所有権(水田広行、水田良大が持分1/2ずつ取得)
現在、市内在住の親類に利用権を設定しており、引き続き耕作してもらう予定です。
- 6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無
利用権を設定し、耕作されているので農業委員会のあっせんを希望しません。

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 届出者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)の記載を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 3 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 4 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。

② 遺産分割が終了して届け出るときの記載例

農地法第3条の3第1項の規定による届出書

平成 23 年 6 月 15 日

〇〇市 農業委員会会長 殿

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
氏名 水田 広行 印

下記農地(採草放牧地)について、遺産分割により所有権を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出ます。

記

- 1 権利を取得した者の氏名等

氏名	住所
水田 広行	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

- 2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	備考
	登記簿	現況		
〇〇市〇〇町大字 00321番	田	田	3,000	
〇〇市〇〇町大字 00543番	畑	畑	1,000	

- 3 権利を取得した日
平成 22 年 4 月 1 日
- 4 権利を取得した事由
遺産分割の協議が6月1日に成立したことにより取得
- 5 取得した権利の種類及び内容
所有権
7月いっぱい、市内在住の親類に設定していた利用権の期限が切れます。
- 6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無
上記の親類は、利用権の設定期限が切れた後、耕作する意向がありません。また、私も市外でサラリーマンをしており、自ら耕作できませんので農業委員会のあっせんを希望します。

- 5 記の4の「権利を取得した事由」には、相続(遺産分割及び包括遺贈を含む)、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 6 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。
- 7 記の6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。